

## AXIS S3016 Recorder

### 強力なPoEスイッチを搭載した16チャンネルレコーダー

AXIS S3016 Recorderは、最大16台のPoE Class 4装置に対応するPoEスイッチを搭載した1Uラックレコーダーです。4台の監視グレードのハードドライブとさまざまなRAIDレベルを用いることで、信頼性の高い録画を実現します。この高性能レコーダーには、ネットワーク装置接続用のギガビットスイッチと、超高解像度のビデオ録画用の2.5ギガビットアップリンクが搭載されています。また、5年間の保証が付いています。また、単一サイトシステムでも複数サイトシステムでも、既存システムのストレージとネットワークの拡張に使用できます。さらに、AXIS Companionにも、AXIS Camera Stationのビデオ管理ソフトウェアとモバイルアプリにも対応しています。

- > PoEスイッチを搭載したラックレコーダー
- > 容易な設置と操作
- > 監視グレードのハードドライブ
- > ビデオエクスポート用のUSBポート
- > 5年保証



# AXIS S3016 Recorder

バリエーション  
AXIS S3016 Recorder 8 TB  
AXIS S3016 Recorder 16 TB  
AXIS S3016 Recorder 32 TB

## ハードウェア

プロセッサ  
i.MX 8QuadMax

ストレージ  
ホットスワップ可能な監視クラスHDD  
HDDスロット総数: 4  
空きHDDスロット:  
**8TB**  
すぐに利用可能なストレージ :RAID 5以降の6 TB  
RAIDがない状態ですぐに使用可能な容量 :8 TB (4x2 TB)  
**16TB**  
すぐに利用可能なストレージ :RAID 5以降の12 TB  
RAIDがない状態ですぐに使用可能な容量 :16 TB (4x4 TB)  
**32TB**  
すぐに利用可能なストレージ :RAID 5以降の24 TB  
RAIDがない状態ですぐに使用可能な容量 :32 TB (4x8 TB)

RAID  
工場出荷時のRAIDレベル:5  
サポートされているRAIDレベル:0、1、5、6、10

スイッチ  
搭載ポート数16、合計電源容量305 W  
Power over Ethernet (PoE) IEEE 802.3at Class 4

電源  
最大650 W、305 W PoE専用  
100~240 V AC、50~60 Hz

消費電力  
(接続された装置の消費電力を除く)  
通常消費電力  
8 TB : 31 W  
16 TB : 34 W  
32 TB : 44 W  
最大消費電力  
8 TB : 37 W  
16 TB : 41 W  
32 TB : 49 W

コネクター  
フロント側:  
USB 3.0 x 1  
リア側:  
PoE RJ45 1 Gbps x 16  
AUX RJ45 2.5 Gbps x 1  
LAN RJ45 2.5 Gbps x 1  
LAN SFP 1 Gbps x 1  
USB 2.0 x 1  
電源コネクター x 1

## ビデオ

録画  
最大16のビデオソースに対応、録画の合計ビットレートは最大256メガビット/秒

ビデオ圧縮  
H.264 (MPEG-4 Part 10/AVC)、H.265 (MPEG-H Part 2/HEVC)  
カメラのサポートに応じて

解像度  
すべてのカメラ解像度をサポート

フレームレート  
すべてのカメラフレームレートをサポート

## 音声

音声ストリーミング  
カメラのサポートに応じた単方向の音声録音

音声エンコーディング  
AAC  
カメラのサポートに応じて

## ネットワーク

ネットワークプロトコル  
IPv4、IPv6 USGv6、ICMPv4/ICMPv6、HTTP、HTTPS<sup>1</sup>、HTTP/2、TLS<sup>1</sup>、SFTP、SMTP、mDNS (Bonjour)、UPnP<sup>®</sup>、SNMP v1/v2c/v3 (MIB-II)、DNS/DNSv6、NTP、NTS、RTSP、TCP、UDP、IGMPv1/v2/v3、ICMP、DHCPv4/v6、ARP、SSH、LLDP、IEEE 802.1X (EAP-TLS)、IEEE 802.1AR

1. 本製品には、OpenSSL Toolkitで使用するためにOpenSSL Project ( [openssl.org](https://www.openssl.org) ) によって開発されたソフトウェアとEric Young ( [eyay@cryptsoft.com](mailto:eyay@cryptsoft.com) ) によって開発された暗号化ソフトウェアが含まれています。

## システムインテグレーション

アプリケーションプログラミングインターフェース  
VAPIX®、Axis Camera Application Platform (ACAP) など、ソフトウェア統合のためのオープンAPI (仕様については[axis.com/developer-community](https://axis.com/developer-community)を参照)。  
ワンクリックによるクラウド接続

ビデオ管理システム  
Axis Camera Station Edge、Axis Camera Station Pro、Axis Camera Station 5、および[axis.com/vms](https://axis.com/vms)で入手可能なAxis/パートナー製ビデオ管理ソフトウェアに対応。

イベントトリガー  
ハードドライブエラー、ハードドライブ温度の警告、CPU温度の警告、ファンのエラー、PoEの給電容量超過、RAIDの警告

## 認証

製品のマーキング  
UL/cUL、BIS、CE、VCCI、NOM、RCM、BSMI

サプライチェーン  
TAA準拠

EMC  
EN 55035、EN 55032 Class A、EN 61000-3-2、EN 61000-3-3、EN 61000-6-1、EN 61000-6-2  
オーストラリア/ニュージーランド:  
RCM AS/NZS CISPR 32 Class A  
カナダ: ICES-3(A)/NMB-3(A)  
日本: VCCI Class A  
米国: FCC Part 15 Subpart B Class A  
台湾: CNS 15936

安全性  
CAN/CSA C22.2 No. 62368-1、  
IEC/EN/UL 62368-1 ed. 3、  
RCM AS/NZS 62368.1:2018、IS 13252、BSMIマーク、  
NOM-019

環境  
IEC 60068-2-1、IEC 60068-2-2、IEC 60068-2-6、  
IEC 60068-2-14、IEC 60068-2-27、IEC 60068-2-78、  
IEC/EN 60529 IP20

ネットワーク  
NIST SP500-267

サイバーセキュリティ  
ETSI EN 303 645、BSI IT Security Label、FIPS 140

## サイバーセキュリティ

エッジセキュリティ  
ソフトウェア: 署名付きOS、ダイジェスト認証、パスワード保護  
ハードウェア: Axis Edge Vaultサイバーセキュリティプラットフォーム  
TPM 2.0 (CC EAL4+、FIPS 140-2 Level 2)、セキュアエレメント (CC EAL 6+)、システムオンチップセキュリティ (TEE)、AxisデバイスID、セキュアキーストア、セキュアブート、暗号化ファイルシステム (AES-XTS-Plain64 256bit)

ネットワークセキュリティ  
IEEE 802.1X (EAP-TLS)<sup>2</sup>、IEEE 802.1AR、HTTPS/HSTS<sup>2</sup>、  
TLS v1.2/v1.3<sup>2</sup>、Network Time Security (NTS)、X.509証明書PKI

文書化  
Axis OSハードニングガイド  
Axis脆弱性管理ポリシー  
Axisセキュリティ開発モデル  
ドキュメントをダウンロードするには、[axis.com/support/cybersecurity/resources](https://axis.com/support/cybersecurity/resources)にアクセスしてください。  
Axisのサイバーセキュリティのサポートの詳細については、[axis.com/cybersecurity](https://axis.com/cybersecurity)にアクセスしてください。

## 概要

対応デバイス  
ファームウェア5.50以降のAxisの装置  
Axis Companionミニカメラおよびサードパーティ製カメラはサポートされていません

ケーシング  
スチール製ケーシング  
カラー: 黒 NCS S 9000-N

フォームファクタ  
1Uラック  
EIA-310ラック対応

動作温度  
温度: 0° C~45° C  
湿度: 10~85% RH (結露不可)

保管条件  
温度: -20° C~65° C  
湿度: 5~90%RH (結露不可)

2. 本製品には、OpenSSL Toolkitで使用するためにOpenSSL Project ([openssl.org](https://openssl.org)) によって開発されたソフトウェアとEric Young ([eay@cryptsoft.com](mailto:eay@cryptsoft.com)) によって開発された暗号化ソフトウェアが含まれています。

寸法  
484 x 402 x 44.1 mm  
レール最小深さ<sup>3</sup>: 398 mm (15.7 インチ)  
製品設置深さ<sup>4</sup>: 377 mm (14.8 in)  
レール調整 範囲<sup>5</sup>: 376~499 mm

環境責任  
[axis.com/environmental-responsibility](https://axis.com/environmental-responsibility)  
Axis CommunicationsはUN Global Compactの署名企業です (詳細については[unglobalcompact.org](https://unglobalcompact.org)を参照)

---

重量  
8 TB 10.24 kg  
16 TB 10.08 kg  
32 TB 10.68 kg

---

パッケージ内容  
レコーダー、ラックレール、フロントカバー、ゴム脚、インストールガイド、電源コード、ネジ

---

オプションアクセサリー  
AXIS TS3901 Rail Extensions  
その他のアクセサリーについては、[axis.com/products/axis-s3016](https://axis.com/products/axis-s3016)にアクセスしてください。

---

システムツール  
AXIS Site Designer、AXIS Device Manager、プロダクトセクター、アクセサリーセクター  
[axis.com](https://axis.com)で入手可能

---

言語  
英語、ドイツ語、フランス語、スペイン語、イタリア語、ロシア語、中国語 (簡体字)、日本語、韓国語、ポルトガル語、ポーランド語、中国語 (繁体字)、オランダ語、チェコ語、スウェーデン語、フィンランド語、トルコ語、タイ語、ベトナム語

---

保証  
5年保証、[axis.com/warranty](https://axis.com/warranty)を参照

---

製品番号  
[axis.com/products/axis-s3016#part-numbers](https://axis.com/products/axis-s3016#part-numbers)で入手可能

## サステナビリティ

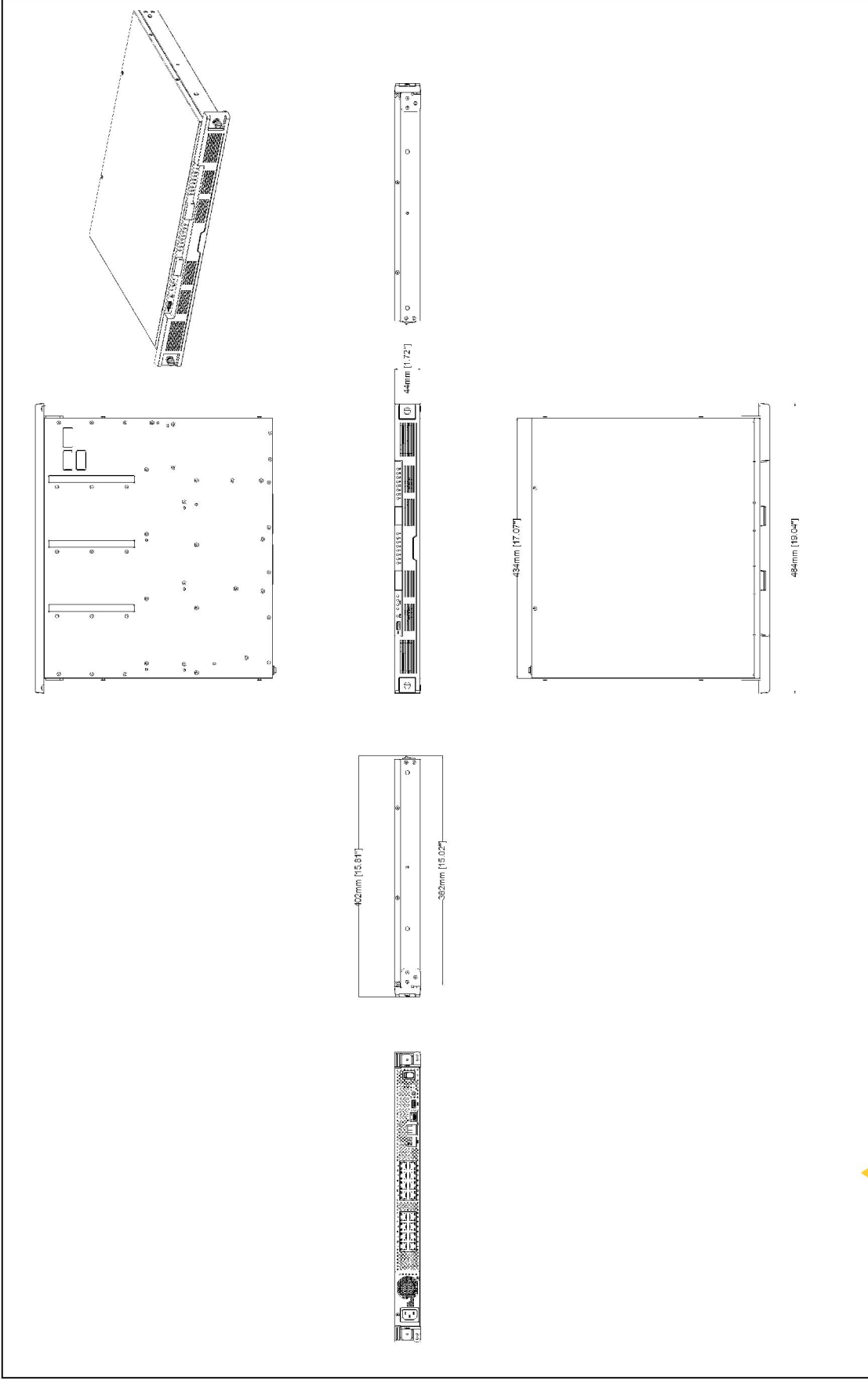
物質管理  
PVC不使用  
RoHS (EU RoHS指令2011/65/EUおよびEN 63000:2018)に準拠  
(EC) No 1907/2006に準拠したREACH。SCIP UUIDについては、[echa.europa.eu](https://echa.europa.eu)を参照してください。

---

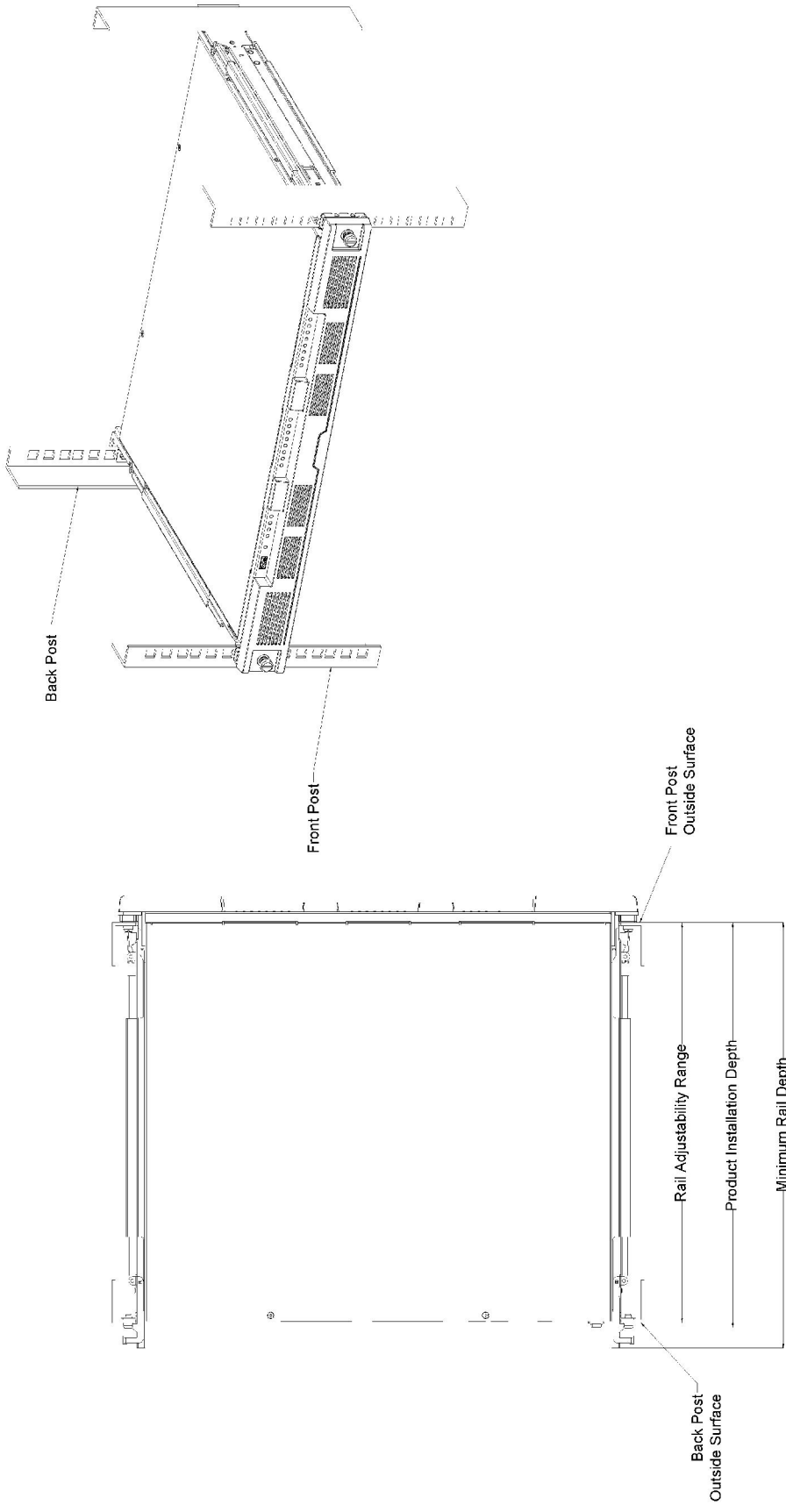
材料  
再生可能な炭素系プラスチックの含有率:63% (再生プラスチック)  
OECDガイドラインに従って紛争鉱物について検査済み  
Axisの持続可能性の詳細については、[axis.com/about-axis/sustainability](https://axis.com/about-axis/sustainability)にアクセスしてください。

- 
3. フロントラックポストの外側の面からレールの端までを測定。
  4. フロントラックポストの外側表面から製品背面までを測定。
  5. 前面と背面のラックポストの外側に面する面間の許容距離

寸法図面



Revision	v.01	Revision date	2023-09-13
Paper size	A4	Release date	2023-01-17
Created by	MS	Scale	1:8



# AXIS S3016 Recorder

www.axis.com

Revision	v.01	Revision date	2023-09-13
Paper size	A4	Release date	2023-09-13
Created by	MS	Scale	1:5

© 2023 Axis Communications

## 注目の機能

### Axis Edge Vault

Axis Edge Vaultは、Axisの装置を保護するハードウェアベースのサイバーセキュリティプラットフォームです。すべてのセキュアな運用が依存する基盤を形成し、装置のIDを保護して、完全性を保護し、不正アクセスから機密情報を保護する機能を提供します。たとえば、セキュアブートは、装置が署名付きOSでのみ起動できるようにするため、サプライチェーンにおける物理的な改ざんを防止することができます。署名付きOSの場合は、デバイスで新しいデバイスソフトウェアが検証されてからインストールが受け付けられるようになります。また、セキュアキーストアは、安全な通信で使用される暗号情報 (IEEE 802.1X、HTTPS、Axis装置ID、アクセスコントロールキーなど) を、セキュリティ侵害が発生した際に悪意のある抽出から保護するための重要な構成要素です。セキュアキーストアや安全な通信は、Common CriteriaやFIPS 140認証のハードウェアベースの暗号計算モジュールを通して提供されます。

Axis Edge Vaultの詳細については、[axis.com/solutions/edge-vault](https://www.axis.com/solutions/edge-vault)にアクセスしてください。

詳細については、[axis.com/glossary](https://www.axis.com/glossary)を参照してください。